

お子さんの
いろいろな障がいを
知ってみよう
6テーマ×30分



市YouTube

- 第1回 入園・入学 ウチの場合は
- 第2回 子どものマスクや帽子など身に着ける方法を考えてみよう
- 第3回 買い物でパニック!? どこか行っちゃう問題
- 第4回 肢体不自由のお子さんを知ってみよう
- 第5回 支援学級とは何だろう
- 第6回 反抗期・思春期



前を向いて 子育てするために



育てをしていると、周りの子と比べて悩んだり、成長の早さが気かして…」と不安になり、「育て方が間違っているのかも」と自分を責めてしまうことも。

そのような時に、一人で抱え込む必要はありません。市の相談窓口や乳幼児健診時だけでなく、保護者の集いなどでも相談できます。

一人で悩まないで

月に1回、障がいを持つお子さんを育てている保護者が集まる「お話し会」があります。同仁会ゆうゆう館を会場に、和やかな雰囲気の中、悩みを打ち明け合い、情報交換などをしていきます。肢体不自由や自閉症、学習障がいなどがある子を育てている中で、それぞれの出来事や対処で困ったことなどを話し合います。

子育てに役立つ教え

6つのテーマについて「お話し会」の皆さんが話している内容を、市公式YouTubeで聞くことができます。障がいのない子の子育てにも役立つ教えがたくさんあります。

自分自身を追い詰めず、前向きに考えられるようになることが、子どもの成長への近道です。

「お話し会」代表 長谷部

☎ 090-11268-2031



ストレスを上手く発散し、
パパ、ママが元気である

■問合せ [乳幼児] 健康づくり課 ☎ 24-2121
[18歳未満の子ども] 子育て支援課 ☎ 23-2129

自分を信じ、夢に挑む



の中に虫がいるのではと感じた9歳のころ。耳鳴りは突発性難聴の始まりでした。当時、秋山小学校に通っていた小林育未さん。その後、高校1年生で再び発症し、徐々に聴力が低下して重度難聴に。両耳に補聴器を付けても、はつきりとは聞こえない状態になりました。

会話は、相手の唇の形を読む読唇術で理解し、言葉を声にします。手話は使わないので、見た目では障がい分かりません。それ故に、理解してもらえずに苦しんだこともあったそうです。

障がいを理由にしない

中学生の時に国際交流事業でハワイに行ったのをきっかけに、英語に

興味を持った育未さん。その後、アメリカへ留学。初めは、英語で水を注文することも出来ませんでした。

しかし、「聴覚障がい者だから、英語を話せるようになるのは無理だ」と言われた言葉をバネに、5年間勉強に励み、アメリカの大学を卒業。現在は、世界的に有名な外資系IT企業で活躍しています。

また、NHK「聞こえないセンパイの課外授業※」に出演。「障がいを理由に夢をあきらめず、自分の信じていることを追及してほしい」という思いを伝えています。



東京2020パラリンピック聖火ランナーを務めた際のTシャツを手に。

NHK福祉情報サイト ハートネット

※ ろうを生きる 難聴を生きる「聞こえないセンパイの課外授業」(前・後・特別編)に出演。勉強法や人間関係の築き方など夢実現のヒントになる内容をご覧ください。

<https://www.nhk.or.jp/heart-net/program/rounan/1851/>

